

2019年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

2019年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。全国各地の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと存じ、心よりお喜び申し上げます。

昨年は豪雪に始まり、猛暑、豪雨、台風そして地震と想像を超える大きな自然災害に見舞われた年でした。私たち業界は、常に円滑な食のライフラインを維持することを大きな社会的使命として担っておりますので、あらためて自然災害にどのように備えるべきかを考えさせられる年でもありました。そうした中で食品流通業界は、消費環境の変化に合わせて大型の流通再編成があり、特に地方での提携・統合等が進展しました。弊協会活動としては業界の物流に関する課題解決に向けて着実に協調領域事業を拡大し、入荷トラックの待機時間の削減を意図する業界標準のインフラシステムの開発に着手し、卸の存在価値を高めることが出来ました。また今年実施される消費増税と軽減税率制度につきましては円滑な業界導入を目指して関連省庁の多大なご協力をいただき業界対応方針をとりまとめて発信し、制度を周知してメーカー、小売業の皆様と連携、検討する素地を整備することができ、中間流通機能としての役割を少なからず発揮することができました。

さて本年は、平成から新元号へ移行し新たな時代の幕開けを迎えますが、弊協会としては食品流通の中で新しいデジタル技術が促す経済構造のパラダイム転換を踏まえて協調的成果を着実に進展させて中間流通の価値を高めていきたいと考えております。デジタル時代においては技術革新の進化により取引コストは最小化に近づくといわれておりますので、個別に成果を求めるより協調して業界全体の価値を高めることを優先して思考する姿勢が重要だと認識しております。未曾有の物流危機を背景に弊協会が業界のプラットフォーム基盤として機能し「競争と協調」という理念を提唱し続け、生産性の向上に寄与する「働き方改革」にも取り組み食品流通の健全な発展に貢献する活動をして参りたいと考えております。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。